

ま え が き

国勢調査は、日本の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として実施する国の最も基本的な統計調査です。大正9年（1920年）以来ほぼ5年ごとに実施しており、令和2年（2020年）に行った調査は、その21回目に当たり、実施100年の節目となります。

この本は、日本の人口・世帯の実態を令和2年国勢調査の結果を基に解説したものです。出生から高齢者となるまでの、いわゆるライフステージ別に、グラフを用いて解説しているのが特徴であり、ニュースなどで話題になる、少子化、未婚の割合の増加、女性の社会進出、高齢化などの社会の変化をみてとることができます。

令和2年国勢調査の結果が、国・地方公共団体や、企業、研究機関等の方のみならず、広く一般の方々に活用されることを願ってやみません。

また、令和2年国勢調査は、新型コロナウイルス感染症流行下での実施となりました。この本の刊行に際し、そうした厳しい状況の中、今回の国勢調査にご回答いただいた皆様に心から感謝の意を表する次第です。

令和5年3月

総務省統計局長

井上 卓